



猪名川河川レンジャー

猪名川河川レンジャーは、地域の人々と行政が協力する川づくりを育みます。



河川レンジャーとは？

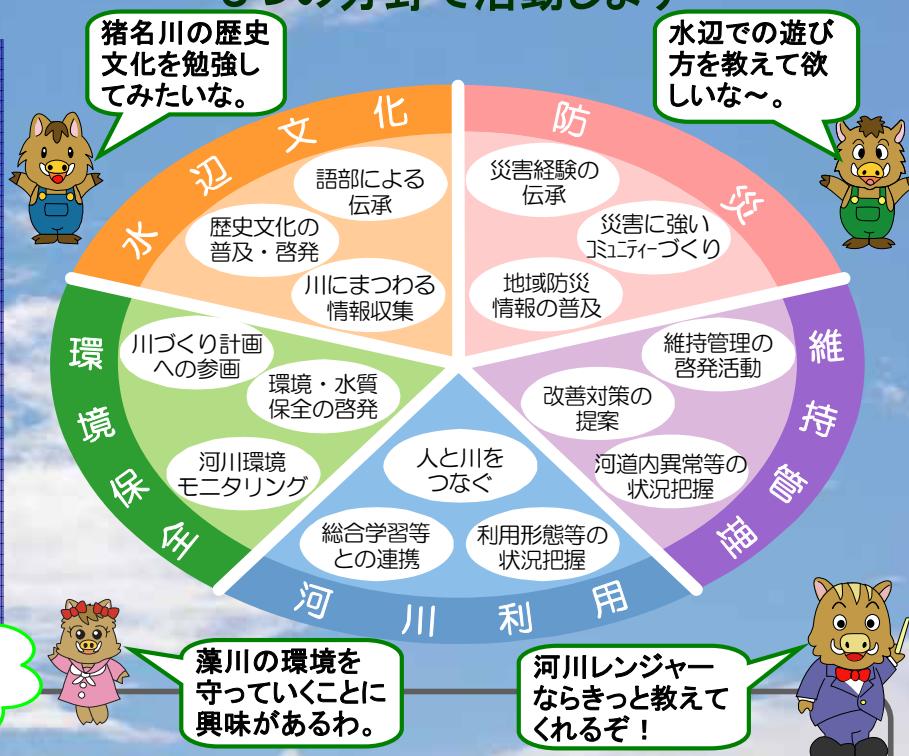
『河川レンジャー』は、地域と連携した河川整備を進めるうえで、住民に川に関する関心を持ってもらい、住民参加型の河川整備の推進を支援する立場で、住民と行政との関係をコーディネートし、人と川をつなぐ役割を担っています。

猪名川流域の水辺での活動などを通じて、「防災」「維持管理」「河川利用」「環境保全」「水辺文化」の5つの分野に貢献しています。

～詳しくは～

河川レンジャーのHPにレンジャーカレンダーのコーナーを開設しました。水辺で開かれているイベントを紹介しています。

5つの分野で活動します



国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所HP『い~ないながわネット』内

猪名川河川レンジャーのホームページ(<http://www.inagawa.kkr.mlit.go.jp/busi/ranger/>)をご覧下さい。

猪名川河川レンジャーは このような活動を行っています！



水辺まつり2007&水辺フォーラム

(平成19年9月16日&12月2日)



「水辺まつり2007」
河川レンジャーコーナー



「水辺フォーラム」

『水辺まつり2007』では、河川レンジャーコーナーを設け、水辺の環境保全や防災に対する意識啓発を図りました。

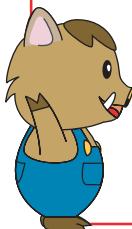
また、地域の方から「猪名川・藻川への川への思い」を募集・展示し、優秀作品の発表も行いました。

『水辺フォーラム』では、猪名川・藻川における防災や環境について討議を行い、地域のみなさんや行政の人たちに有意義な場となりました。

猪名川河川レンジャーは環境の討議におけるリーダー役を担いました。

水辺まつりでは、約270名の方に「猪名川・藻川への川への思い」のメッセージを書いて貰ったんだ。

水辺フォーラムでも、河川レンジャーも地域のみなさんと一緒にになって、環境や防災についてのアクションプランづくりに取り組んだんだよ。



2007いながわの野草教室

(平成19年10月20日)

野草教室当日は、前日までの雨の影響で、伊丹市下河原の猪名川河川敷の会場では、足下が悪かったにもかかわらず、地域のたくさんの人々が参加してくれました。

箕面川を中心に行った「クリーン作戦」には、火ばさみとゴミ袋を持った多くの子供達が参加してくれました。

また、「猪名川の虫を調べよう」では、約30名の子供達が猪名川河川レンジャーと一緒に猪名川の自然について勉強しました。



「クリーン作戦」には約170人の人たちが参加して、約50袋のゴミを集めることができたわ。また、「猪名川の虫を調べよう」では、バッタの仲間やカナブンの仲間など23種類の昆虫とカヤネズミの巣を見つけたのよ。



第2回流域連携意見交換会

(平成19年10月18日)

「大阪大学サイエンスショップ」による中間報告では、藻川に生息するアユには鉛やカドミウムが含まれているが、藻川のアユを毎日20匹ずつ一生食べ続けても体への影響はないそうです。

また、「あーす・いたみ」による“ヒメボタルについての報告”では、猪名川・藻川周辺にはヒメボタルの生息地が数ヶ所あり、5月頃から夜間に観察が行えるとのことです。

また、ヒメボタルは陸生のため川の近くで見つかるのは、珍しいそうです。



「流域連携意見交換会」
の開催風景



大阪大学サイエンスショップ
による分析結果の発表

参加した団体の活動報告では、藻川で取れた魚の分析結果や、今年度猪名川の水辺で行われたイベントなどについての報告があり、とても興味深かったんだ。とってもいい意見交換の場だったな～。



出前講座(防災編)

(平成19年11月11日)

尼崎市消防団からの依頼により、猪名川・藻川の洪水時に第一線で活躍される消防団員102名を対象に、兵庫県尼崎市園田競馬場第3駐車場で『出前講座(防災編)』を開催しました。



当日は風が強かったにもかかわらず、水防災に関するスキルアップのため、消防団の皆さんは熱心に講座を聞かれていきました。



熱心に説明を行う
河川レンジャー

防災を担当とする河川レンジャーが講師となり、猪名川の洪水の歴史や特徴、猪名川・藻川の重要水防箇所の説明を行いました。



地域に密着して活躍されている消防団の皆さんを対象として出前講座を行うことで、地域のニーズに適した、より効果的な防災意識の啓発を行ったんだよ。